

## 第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）  
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと併せてご活用ください。

～社会保障の財源確保、成長分野への円滑な労働移動に関して政策のあり方を提言します。

2010/12/20 「求められる景気に左右されない社会保障改革 ～税制改革と社会保障の一体的な見直しが重要～」

2010/12/15 「産業構造変化に対応可能な労働市場に向けて ～デンマークのフレキシキュリティに学ぶ～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～マクロ経済動向から今年の金融市場の行方を読み解きます。

2010/12/28 「2011年の市場見通し～冴えない景気を過剰流動性が支える～」

掲載カテゴリ：鳥峰義清の「マーケットウォッチング」

～大きく変貌した日本企業の国内外への投資スタンスについて分析しています。

2010/12/13 「新しいバランスシート問題 ～なぜ、企業は株式投資を増やしているのか？～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～今年の消費に影響すると思われるイベントに着目しました。

2011/1/5 「2011年の個人消費を読み解く ～自動車・家電から、レジャー・携帯端末・リフォーム消費にシフト～」

掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～デフレ回避に本腰の米国、財政不安に身構える欧州、成長続くアジアについて解説しています。

2010/12/28 「米国 『2010年減税延長による雇用創出法』実施も大幅な需給ギャップ残存 ～失業率の大幅な低下には一段の景気刺激が必要～」

2010/12/22 「欧州 国債格下げラッシュと欧州財政危機の行方 ～来年前半は1つの正念場となろう～」

2010/12/17 「インド経済事情：旺盛な資金需要に柔軟な対応 ～金融引き締め姿勢は堅持も、資金逼迫による景気失速を回避～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

### 編集後記

「デフレ育ち」の人たちには想像もつかないかもしれないが、1980年代末のバブル期、国内は好景気と投機ブームに沸きかえていた。東京の山手線内側の土地の値段で米国が買えると言われたほど地価は高騰した。およそ二十年後、米国も住宅・資産バブルの崩壊を経験し、デフレに陥る「日本病」を避けようと今必死である。対応策の一環として、昨年末には、所得税、相続税などのいわゆるブッシュ減税が延長された。

デフレ先進国の日本は現在、法人税減税と高所得者層を中心とした所得税、相続税増税に向かっている。景気回復と財政が共通の課題である両国の対処は異なる。景気低迷や財政悪化の程度、これまでの景気対策の経緯によってこの違いが出たということか。いずれも満点の解答ではないだろうが、大切なのは出来る限り論点を絞って、経済政策の優先順位を決めようという明快さだと感じる。（H. U）